

## ◎ Nちゃんのやさしさ

ばなな組のNさん。いつも物静かで多くを語らず、柔らかい雰囲気の女の子です。良く絵本を見たり、色水をしたりして遊んでいるところを見かけます。「どこにいるかなあ」と探さないと見つけれないことも多いくらい、目立たないと言えば目立たないNちゃん。

食後の雑巾がけはばなな組の仕事ですが、廊下にある職員のスリッパを一つずつ持ち上げて、その下を丁寧に拭いてくれる姿を見ました。「ありがとうね。ご苦労様」と言葉をかけると、恥ずかしそうにニコツとして、また黙々と雑巾がけをしています。その姿を見ながら、昔、島田洋七さんのおばあさんの話の本を読んだことがあります。おばあさんの話の中に、「人に気づかれないようにするのが本当のやさしさ、本当の親切！」と言う言葉を思い出しました。Nさんは片付けも上手です。小さいお友達にもとても優しくしてくれます。いい子に育ってるなあと思いました。

この出来事を、毎日ドキュメンテーションを書いている職員に伝えました。子どものこんな姿も気をつけて見て欲しいことを伝えました。ひとりひとりの学びや子どもの心に育っている物を感じて書くのがドキュメンテーションです。毎日、サクラシステムのところに張り出してあります。

## ◎ 吉本和子先生の公開保育

8月6日に、私たちの保育を指導してくださる吉本和子先生（兵庫県在住）に来ていただきました。毎年勉強会を行ってきたのですが、コロナの関係で2年ぶりの研修です。先生は「子どもひとりひとりを大切に、個々の発達に応じた保育」を提唱されており、以前、吉本先生の保育園「やまぼうし保育園」を見学させていただいた時、大きな衝撃を受けました。子ども達の安心しきった表情、自分の思いをしっかりと聞いてもらえる環境。子ども達が本当にのびのびとしており、質の高い遊びを展開していたのには、本当にびっくりでした。

例えば、新幹線ごっこでは、運転手、車掌さん、新幹線の売り子さん、お客さんになって遊んでいました。車掌さんは「切符を拝見いたしまーす！」と声掛けをしています。売り子さんは、ワゴンに新聞やお弁当、飲み物を準備し、お客さんに対応しています。お客さんはお弁当を買ったり、新聞広げて見えています。本当に新幹線の中にいるのではないかという錯覚をするくらい、大人の模倣をして遊びを展開していました。これらの遊びの中には大人はいません。準備から配役、全て子ども達が話し合いながら進めていきます。今のおおむたこども園だと、意見の相違からけんかになって、誰かが泣き出し「やーめた！」と予想されますが、やまぼうしでは本当にスムーズに子ども達で話し合いながら遊びを展開していくのです。保育士生活40年になろうとしている私ですが、こんな遊び方を見たのは初めてでした。それは、私の経験した保育の30年間は、大人主導型の保育で、薄い知識と浅い経験で子ども達を動かしていましたから、子どもの主体の遊び方ではなかったのです。やまぼうしに追いつきたい！と心から思いました。今のままではダメなんだ！もっと子どもを信頼して、子どもの話を聞き、丁寧に保育していくことが本当に大事なのだと学びました。

公開保育を終えて、吉本先生には「育児行為（食事・着替え・午睡・排泄の世話）に関しては、5年目で丁寧にできていると合格点をいただきました。ただ、遊びに関しては、更なる勉強をしていかないといけないようです。子ども達の力を最大限に引き出せるように、保育者ももっともっと保育のセンスを磨かねばならないと思いを新たにしたところです。

